

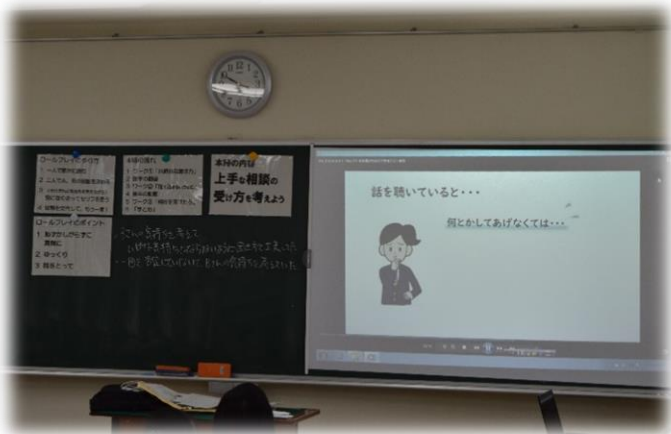
令和3年7月14日（水）SOSの出し方授業

7月14日(水)7時限に「SOSの出し方授業」を全学年、全クラスで実施しました。
(2年4組は7月7日に校内公開授業という形で先行実施しました。)新潟県自殺予防プログラム「悩んでいる友達のためにできること—SOSの出し方に関する授業Vol.2(高等学校編)—」の内容をベースに、7月6日(火)に新潟県ゲートキーパー協会の坂上様、長谷川様、時田様を講師にお招きし開催したゲートキーパー研修の内容も踏まえながらの授業となりました。

ねらいの一つに「ロールプレイをとおして共感的に聴いてもらう良さを体験し、共感的にかかわろうとする」とありますが、生徒は共感的な聴き方を体験するため隣り同士で役割を決め真剣にロールプレイに臨んでいました。また、ロールプレイで気付いたことを発表しました。途中、関連する2本の動画が入りましたが、生徒は動画の内容に引き込まれていたようです。生徒たちは相談を受けた場合の対処方法について、抱えきれない時は大人に相談することも含め、自分たちなりに理解していたようです。



途中「SOSの出し方に関する授業Vol.2」に係る動画を見ながら授業が進められました。生徒はメモを取りながら真剣に見ていました。



聞き手と話し手に分かれたロールプレイのあと、気付いたことを発表クラス内やグループ内で発表しました。

発表された内容が黒板に書かれています。



最後のまとめとして、生徒はアンケート用紙に記入しています。授業を通して気付いたこと、理解したこと等を記入しました。